

立憲
れいわ
市民の会

塚田ひさこの としま区議会ニュース

2025年
01号

発行日: 2025年4月25日
発行: 立憲・れいわ・市民の会 発行責任者: 塚田ひさこ
連絡先: 〒171-8499 豊島区南池袋2-45-1 豊島区役所9階(立憲・れいわ・市民の会 控え室)
電話: 03-4566-2956 FAX: 03-3980-7031
塚田ひさこ事務所: 電話&FAX: 03-6914-3140



1962年香川県高松市に生まれる。香川県立高松高校、成城大学文学部卒業。1986年サントリー(株)勤務を経て、出版社にて雑誌・書籍編集、企画制作会社にて企業や公的イベントのIT広報に従事。2005年~憲法と社会問題を考えるウェブマガジン「マガジン9」に参画。2019豊島区議会議員初当選。2022れいわ新選組所属。2023年2期目当選。
『チャコの区議会物語』<https://maga9.jp/category/chako/>
E-mail: tsukada@toshima.site X(旧Twitter): hisakotsukada9

「生きているだけで価値がある、としまのまちづくりへ(2)」 (2015年第1回定例会)

- ①2025年度予算について
- ②「持続可能で未来につながる」まちづくりについて
- ③「孤立・孤独」政策について
- ④「ジェンダー平等」と「女性のエンパワーメントの推進について一般質問しました。」

一般会計当初予算規模は、1705億円93百万円、前年比11.5%増と昨年度を超え、過去最大規模。中でも目をひくのは、今期127億円増で375億円を計上した、投資的経費だ。その内訳は？



豊島区

千川中学校改築、駒込地域の学校改築、上池袋図書館改修、新保健所移転、池袋スポーツセンターの改修、西巢鴨橋の架け替え、立教通り整備、南池袋2丁目C地区市街地再開発事業など。

歳入に関しては特別区民税や特別区財政調整交付金が堅調に伸びていることなどから、財政調整基金を5年ぶりに取り崩せずに予算が組めたと、区は評価しています。しかし今後の見通しが不透明で、特に投資的経費の部分が大きなことから、切り詰めた予算編成になっている印象です。学校改築をはじめ、老朽化する公共施設の更新や改築はやらなければなりません、少子高齢化時代を迎えるなかで、巨大で床数や面積をかせぐための高層オフィスビルやマンション建設を含む都市開発計画は、今後10年、20年、30年先の長期的視点に立った時、見直す時期にきているのではないかと強く感じています。本来やるべき区民の声を聞いた福祉、教育の事業が圧迫されないよう、今後も注意深く見ていく必要があります。

オープンなデジタルプラットフォームを活用した、区民の多様な意見を区政に反映させる具体的な取り組みは？



豊島区

「デジタルによる双方向コミュニケーションの実現に向け準備を進めている。事例を研究し、対応を検討する」

質問では「ウォーカーシティ」の先進自治体であるバルセロナ市で、2016年より市民参加型のデジタルプラットフォーム「Decidim」(デシディム:カタルーニャ語で、「我々が決める」)が運用開始され、市民がオンラインで提案・議論・投票できる仕組みが整備され、特にまちづくりのプロセスにおいて、大きな役割を果たしてきたことについても取り上げました。今まさに池袋駅を中心とした「ウォーカーなまちづくり」への再編が行われようとしている中、区民からの意見を反映させる新しい仕組みが必要であり、今後も求めていきます。

全ての私の発言については、区議会ホームページの動画より見ることができますので、ぜひ、ご覧ください。

2024年度の議会活動振り返り

会派「立憲・れいわ・市民の会」の代表として
重要な審議会にも参加し発言をして参りました。



有識者、公募区民代表らと共に、10回にわたって毎回関連な議論と審議が行われました。

「基本構想・計画審議会」では、22年ぶりとなる、豊島区政の最高指針を決める審議会であり、その根幹ともいえる理念に「ジェンダー平等社会の実現や女性に特化した政策」を入れるべきだと、最初からこだわって発言を続けました。最終的には、「女性のエンパワーメントの推進」と文も入り、良かったですが、これからがスタートであり、理念が実現に向かっているのか、ウオッチは続けていきます。



高塚区長に原田久会長より、答申が渡されました。ここからスタートです。

「男女共同参画推進会議」は、「困難な問題を抱える女性への支援に關する法律」の施行を受けた、「第一次豊島区困難女性支援基本計画」の策定にかかわりました。若年女性だけでなく中高年シングル女性の困難についてもなんども現状を踏まえて発言、改正を求めてきました。フォローアップを続け、この計画の啓発や広報にも努めていきます。

「都市計画審議会」は、池袋を中心とした再開発に關わる重要な事業計画の報告や案件が毎回かなりのボリュームで提出されます。地区計画の変更など専門用語が並ぶ原案を読み解くのは至難の業でしたが、都市計画に關する情報収集やまちづくりの勉強会を開くなど行なってきました。大規模開発に關する地域住民からの心配の声を、これからも質問につなげていきます。



区長への答申を終えて、会長が驚くほどいつも熱心な議論が繰り返されます。

会派が提案をし、これらの意見書を出そうと議会に呼びかけました。

◎「金権腐敗政治を一掃することを求める意見書」(2024年第1回定例会)

(*国会及び政府に対して、政治資金規正法を改正し政治資金パーティー券購入を含めて企業・団体献金を全面的に禁止すること、および裏金づくりに關与した政治家の証人喚問を行うことを強く求める。)

◎「地方自治の自主性・自立性が守られることを求める意見書」(2024年第2回定例会)

(*地方自治の自主性・自立性が守られるために、地方自治体への国の指示権の拡大に反対をし、引き続き丁寧で慎重な議論が行われることを強く求める。)

◎「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」(2025年第1回定例会)

(*ジェンダー平等実現の観点からも婚姻の際、同姓を望む人は同姓に、婚姻後も生まれもった氏名を望む人は別姓の「どちらも選択できる」制度の法制化実現は急務であり強く求める。)

残念ながら賛成少数で否決され、正式な意見書提出はかないませんでした。これからも区民のみなさまのより良いくらしや社会実現のため、機会をとらえて議員の責務を果たしていきたいと考えています。



川瀬幹事長と。私が副幹事長のコンビで2年間務めました。

Information

【議会スケジュール】

令和7年臨時会 (5月27日)

令和7年第2回定例会(6月25日~7月30日)

● 請願、陳情受付締切 (6月20日17時)

*副都心開発特別委員会は、池袋を中心とした再開発事業など「まちづくり」に關する報告が行われます。傍聴もできます。直近の予定いずれも10時~(5月15日、6月10日、9月12日)

みなさんからのご意見を議会活動に活かしていきます。また、塚田ひさこのニュース配布や街宣のお手伝いをしてくれる方、随時募集中です。こちらより、コンタクトください。



メール: tsukada@toshima.site /
◀ メールフォームにアクセス

【塚田ひさこのおしゃべり会&区政報告会&勉強会】

~区政報告と区民のみなさんからのお声を聞く「おしゃべり会」を、区民センターで定期的に行なっています~

● 5月11日(日)「積極財政ゼミ 講師:長谷川ういこ」

18時半~20時半 (@としま区民センター6階:601/602)

● 5月24日(土)「(仮)としま*まちづくりカフェ」

18時半~20時半 (@としま区民センター5階:501)

● 6月28日(土)「塚田ひさこのおしゃべり会」

18時半~20時半

(@としま区民センター6階:601/602)

*詳細や申込先は、塚田ひさこのXなどで告知していきます。お気軽にお参加ください。

